

平成 25 年 8 月 9 日

グローバル化時代の初等中等教育を考える国際シンポジウム (平成 25 年 8 月 30 日) の開催について

国立教育政策研究所では、各国の教育改革を先導するキーパーソンを招へいして、グローバル化時代を担う子供達に地球規模の問題を解決し新たな課題を見定める力を育成する教育のあり方を考えるシンポジウムを、JICA(独立行政法人国際協力機構)と共同で開催します。

1. 趣旨

国立教育政策研究所では、プロジェクト研究「教育課程の編成に関する基礎的研究」(平成 21~25 年度)を実施しています。この一環として、諸外国の教育課程の基準について、その枠組みや近年の改革動向等の情報収集・整理を目的に JICA(独立行政法人国際協力機構)と共同研究を進めています。

このたびその一環として、関連する分野の各国の第一人者を招へいしてシンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、各国の教育課程をめぐる改革の動向とそれらの目的・目標等への理解を深めるとともに、グローバル化時代で価値観や文化、社会や経済の仕組みの違いを活かしながら協力して地球規模の困難な課題を解決する力を育成するための初等中等教育の在り方を議論します。

2. 日程等

日時：平成 25 年 8 月 30 日(金) 13:30~17:30

場所：文部科学省 3 階 講堂 (中央合同庁舎第 7 号館東館、東京都千代田区)

言語：日英同時通訳

定員：250 名

4. プログラム(詳細は別添をご覧ください)

○基調講演(主催者)

○パネルディスカッション I : グローバル化時代を生きる資質・能力を育成するための教育課程

コーディネーター：二宮皓(比治山大学学長)

コメンテーター：松尾知明(国立教育政策研究所総括研究官)

パネリスト： ティム・オーツ(イギリス、ケンブリッジ・アセスメントグループダイレクター、ナショナルカリキュラムレビュー専門委員会議長)

ベリー・マックゴー(オーストラリア、オーストラリア・カリキュラム評価報告機関議長)

リンジー・コナー(ニュージーランド、カンタベリー大学教育学部副学部長・准教授)

○パネルディスカッション II : グローバル化時代における国際教育の意義と学校現場での国際教育の推進

コーディネーター：多田孝志(目白大学人間学部長・教授)

コメンテーター：山西優二(早稲田大学文学学術院教授)

パネリスト： フランシス・ハント(イギリス、ロンドン大学教育研究所開発教育調査センター研究員)

アーサー・バーチ(オーストラリア、国際開発庁グローバル教育プログラム前プログラムマネージャー)

マンロー・ペース(カナダ、外務貿易開発省グローバルシチズンシッププログラム政策分析官・アドバイザー)

5. 申込方法

・左記 URL にアクセスの上、申込書に記載しメールで申込み：<http://www.idcj.or.jp/news/130718.html>

・申込締切：平成 25 年 8 月 23 日(金)(定員に達し次第締め切らせていただきます)

(お問合せ) 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部

後藤顕一 電話：03-6733-6863 (直通)、今村聡子 電話：03-6733-6832 (直通)

〔広報担当〕企画普及室 普及・国際係長 飯塚昭義 電話：03-6733-6812 (直通)